

2010年12月6日

2011年3月期 第2四半期

決算説明会用資料

◆ 連結決算 実績対比表	頁 1～3
◆ 販管費、営業外・特別損益 内訳表	頁 4
◆ 分析機器事業	頁 5～9
◆ 自動認識事業	頁 10～12

平成23年3月期 連結決算 第2四半期 前期実績・当期実績比較

●第2四半期 ①前期実績/②当期実績

前期実績 対 当期実績	ジェールサイエンス(株) (分析機器事業)					
	前期実績 第2四半期 (平成22年3月期)		当期実績 第2四半期 (平成23年3月期)		差 異	
	千円	%	千円	%	千円	%
売上高	4,985,576	100.0	5,046,784	100.0	61,208	1.2
売上原価	3,360,991		3,310,040		▲50,951	
売上総利益	1,624,584	32.6	1,736,743	34.4	112,159	6.9
販売費及び一般管理費	1,681,135		1,670,756		▲10,379	
営業利益	▲56,551	▲1.1	65,987	1.3	122,538	—
営業外収益	30,815		52,979		22,164	
営業外費用	75,353		34,496		▲40,857	
経常利益	▲101,088	▲2.0	84,471	1.7	185,559	—
特別利益	1,341		28,350		27,009	
特別損失	110,645		115,390		4,745	
税引前当期純利益	▲210,391	▲4.2	▲2,568	▲0.1	207,823	—
(法人税等)	(8,000)		(4,937)		(▲3,063)	
(税効果)	(▲73,016)		(32,445)		(105,461)	
税合計	▲65,016		37,382		102,398	
税引後当期純利益	▲145,375	▲2.9	▲39,951	▲0.8	105,424	—
少数株主利益	—		—		—	
当期純利益	▲145,375	▲2.9	▲39,951	▲0.8	105,424	—

前期実績 対 当期実績	ジェールサイエンス(株) (自動認識事業)					
	前期実績 第2四半期 (平成22年3月期)		当期実績 第2四半期 (平成23年3月期)		差 異	
	千円	%	千円	%	千円	%
売上高	343,708	100.0	342,000	100.0	▲1,708	▲0.5
売上原価	189,769		194,283		4,514	
売上総利益	153,938	44.8	147,717	43.2	▲6,221	▲4.0
販売費及び一般管理費	144,473		146,905		2,432	
営業利益	9,465	2.8	811	0.2	▲8,654	▲91.4
営業外収益	24		—		▲24	
営業外費用	—		—		—	
経常利益	9,490	2.8	811	0.2	▲8,679	▲91.5
特別利益	—		—		—	
特別損失	34		—		▲34	
税引前当期純利益	9,455	2.8	811	0.2	▲8,644	▲91.4
(法人税等)	(—)		(—)		(—)	
(税効果)	(—)		(—)		(—)	
税合計	—		—		—	
税引後当期純利益	9,455	2.8	811	0.2	▲8,644	▲91.4
少数株主利益	—		—		—	
当期純利益	9,455	2.8	811	0.2	▲8,644	▲91.4

(当社所有株式割合：65.2%)

前期実績 対 当期実績	ジェールサイエンス(株) 個別決算 (分析機器+自動認識)					
	前期実績 第2四半期 (平成22年3月期)		当期実績 第2四半期 (平成23年3月期)		差 異	
	千円	%	千円	%	千円	%
売上高	5,324,929	100.0	5,387,747	100.0	62,818	1.2
売上原価	3,546,405		3,503,286		▲43,119	
売上総利益	1,778,523	33.4	1,884,460	35.0	105,937	6.0
販売費及び一般管理費	1,825,609		1,817,661		▲7,948	
営業利益	▲47,085	▲0.9	66,799	1.2	113,884	—
営業外収益	30,840		52,980		22,140	
営業外費用	75,353		34,496		▲40,857	
経常利益	▲91,598	▲1.7	85,283	1.6	176,881	—
特別利益	1,341		28,350		27,009	
特別損失	110,679		115,390		4,711	
税引前当期純利益	▲200,936	▲3.8	▲1,756	▲0.0	199,180	—
(法人税等)	(8,000)		(4,937)		(▲3,063)	
(税効果)	(▲73,016)		(32,445)		(105,461)	
税合計	▲65,016		37,382		102,398	
税引後当期純利益	▲135,920	▲2.6	▲39,139	▲0.7	96,781	—
少数株主利益	—		—		—	
当期純利益	▲135,920	▲2.6	▲39,139	▲0.7	96,781	—

前期実績 対 当期実績	テクノオーツ(連結) (半導体事業)					
	前期実績 第2四半期 (平成22年3月期)		当期実績 第2四半期 (平成23年3月期)		差 異	
	千円	%	千円	%	千円	%
売上高	1,508,596	100.0	2,417,019	100.0	908,423	60.2
売上原価	1,295,172		1,787,143		491,971	
売上総利益	213,424	14.2	629,875	26.1	416,451	195.1
販売費及び一般管理費	389,074		452,657		63,583	
営業利益	▲175,650	▲11.6	177,217	7.3	352,867	—
営業外収益	38,874		12,012		▲26,862	
営業外費用	12,928		41,772		28,844	
経常利益	▲149,704	▲9.9	147,457	6.1	297,161	—
特別利益	836		3,568		2,732	
特別損失	6,503		8,721		2,218	
税引前当期純利益	▲155,372	▲10.3	142,304	5.9	297,676	—
(法人税等)	(3,262)		(3,222)		(▲40)	
(税効果)	(▲155)		(▲120)		(35)	
税合計	3,106		3,101		▲5	
税引後当期純利益	▲158,478	▲10.5	139,203	5.8	297,681	—
少数株主利益	—		—		—	
当期純利益	▲158,478	▲10.5	139,203	5.8	297,681	—

前期実績 対 当期実績	連結決算					
	前期実績 第2四半期 (平成22年3月期)		当期実績 第2四半期 (平成23年3月期)		差 異	
	千円	%	千円	%	千円	%
売上高	6,865,376	100.0	7,851,222	100.0	985,846	14.4
売上原価	4,810,147		5,273,455		463,308	
売上総利益	2,055,228	29.9	2,577,767	32.8	522,539	25.4
販売費及び一般管理費	2,283,284		2,323,909		40,625	
営業利益	▲228,055	▲3.3	253,857	3.2	481,912	—
営業外収益	72,847		57,750		▲15,097	
営業外費用	93,145		68,860		▲24,285	
経常利益	▲248,353	▲3.6	242,748	3.1	491,101	—
特別利益	2,157		24,316		22,159	
特別損失	104,611		124,112		19,501	
税引前当期純利益	▲350,807	▲5.1	142,952	1.8	493,759	—
(法人税等)	(12,563)		(6,682)		(▲5,881)	
(税効果)	(▲64,855)		(32,144)		(96,999)	
税合計	▲52,292		38,827		91,119	
税引後当期純利益	▲298,514	▲4.4	104,125	1.3	402,639	—
少数株主利益	▲53,754		48,377		102,131	
当期純利益	▲244,760	▲3.6	55,747	0.7	300,507	—

平成23年3月期 連結決算 通期 前期実績・当期見直し後計画(11月5日公表)比較

●通期 ①当前期実績/②当期見直し後計画(11月5日公表)

前期実績 対 見直し後計画	ジェエルサイエンス(株) (分析機器事業)					
	前期実績 通期 (平成22年3月期)		当期見直し 通期 (平成23年3月期)		差 異	
	千円	%	千円	%	千円	%
売 上 高	11,107,724	100.0	10,950,000	100.0	▲157,724	▲1.4
売 上 原 価	7,480,077		7,300,000		▲180,077	
売 上 総 利 益	3,627,646	32.7	3,650,000	33.3	22,354	0.6
販売費及び一般管理費	3,356,800		3,450,676		93,876	
営 業 利 益	270,846	2.4	199,324	1.8	▲71,522	▲26.4
営 業 外 収 益	72,318		77,499		5,181	
営 業 外 費 用	55,383		58,696		3,313	
経 常 利 益	287,781	2.6	218,127	2.0	▲69,654	▲24.2
特 別 利 益	5,000		28,350		23,350	
特 別 損 失	131,299		115,390		▲15,909	
税引前当期純利益	161,481	1.5	131,087	1.2	▲30,394	▲18.8
(法 人 税 等)	(191,000)		(109,999)		(▲81,001)	
(税 効 果)	(▲2,886)		(—)		(2,886)	
税 合 計	188,113		109,999		▲78,114	
税引後当期純利益	▲26,631	▲0.2	21,088	0.2	47,719	—
少数株主利益	—		—		—	
当期純利益	▲26,631	▲0.2	21,088	0.2	47,719	—

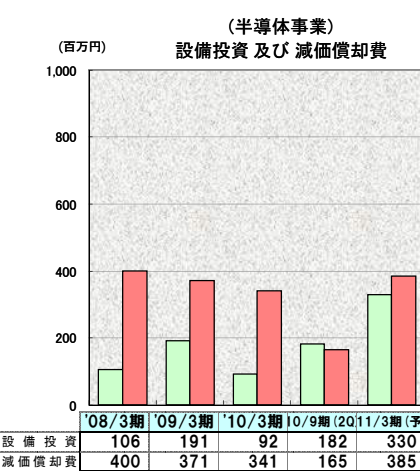
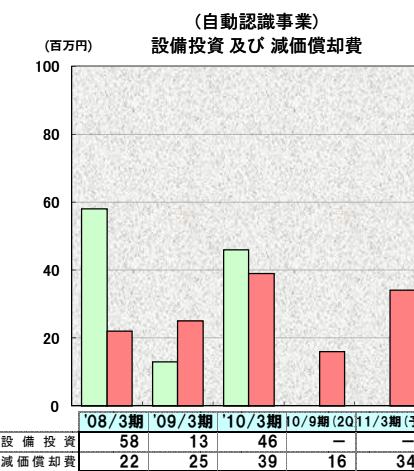
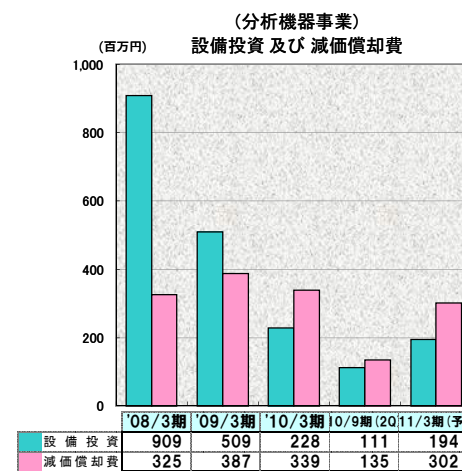
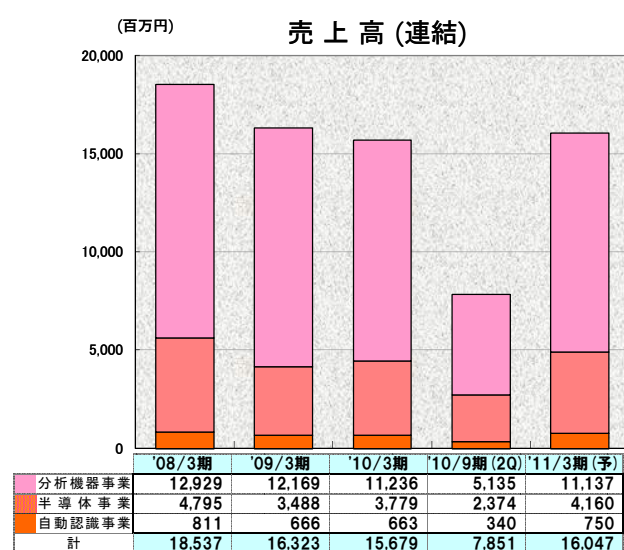
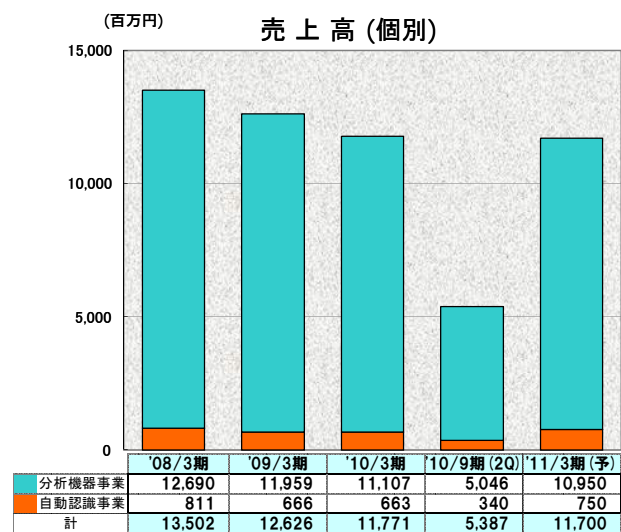
前期実績 対 見直し後計画	ジェエルサイエンス(株) (自動認識事業)					
	前期実績 通期 (平成22年3月期)		当期見直し 通期 (平成23年3月期)		差 異	
	千円	%	千円	%	千円	%
売 上 高	672,649	100.0	750,000	100.0	77,351	11.5
売 上 原 価	374,810		420,060		45,250	
売 上 総 利 益	297,838	44.3	329,940	44.0	32,102	10.8
販売費及び一般管理費	287,664		305,640		17,976	
営 業 利 益	10,174	1.5	24,300	3.2	14,126	138.8
営 業 外 収 益	25		—		▲25	
営 業 外 費 用	—		—		—	
経 常 利 益	10,199	1.5	24,300	3.2	14,101	138.3
特 別 利 益	—		—		—	
特 別 損 失	36		—		▲36	
税引前当期純利益	10,163	1.5	24,300	3.2	14,137	139.1
(法 人 税 等)	(—)		(—)		(—)	
(税 効 果)	(—)		(—)		(—)	
税 合 計	—		—		—	
税引後当期純利益	10,163	1.5	24,300	3.2	14,137	139.1
少数株主利益	—		—		—	
当期純利益	10,163	1.5	24,300	3.2	14,137	139.1

(当社所有株式割合：65.2%)

前期実績 対 見直し後計画	ジェエルサイエンス(株) 個別決算 (分析機器+自動認識)					
	前期実績 通期 (平成22年3月期)		当期見直し 通期 (平成23年3月期)		差 異	
	千円	%	千円	%	千円	%
売 上 高	11,771,508	100.0	11,700,000	100.0	▲71,508	▲0.6
売 上 原 価	7,846,023		7,720,060		▲125,963	
売 上 総 利 益	3,925,485	33.4	3,979,940	34.0	54,455	1.4
販売費及び一般管理費	3,644,464		3,756,316		111,852	
営 業 利 益	281,020	2.4	223,624	1.9	▲57,396	▲20.4
営 業 外 収 益	72,343		77,499		5,156	
営 業 外 費 用	55,383		58,696		3,313	
経 常 利 益	297,981	2.5	242,427	2.1	▲55,554	▲18.6
特 別 利 益	5,000		28,350		23,350	
特 別 損 失	131,335		115,390		▲15,945	
税引前当期純利益	171,645	1.5	155,387	1.3	▲16,258	▲9.5
(法 人 税 等)	(191,000)		(109,999)		(▲81,001)	
(税 効 果)	(▲2,886)		(—)		(2,886)	
税 合 計	188,113		109,999		▲78,114	
税引後当期純利益	▲16,468	▲0.1	45,388	0.4	61,856	—
少数株主利益	—		—		—	
当期純利益	▲16,468	▲0.1	45,388	0.4	61,856	—

前期実績 対 見直し後計画	テクノオウツ(連結) (半導体事業)					
	前期実績 通期 (平成22年3月期)		当期見直し 通期 (平成23年3月期)		差 異	
	千円	%	千円	%	千円	%
売 上 高	3,867,411	100.0	4,260,000	100.0	392,589	10.2
売 上 原 価	3,025,481		3,271,905		246,424	
売 上 総 利 益	841,929	21.8	988,095	23.2	146,166	17.4
販売費及び一般管理費	811,563		800,949		▲10,614	
営 業 利 益	30,366	0.8	187,146	4.4	156,780	516.3
営 業 外 収 益	48,441		2,741		▲45,700	
営 業 外 費 用	47,250		29,285		▲17,965	
経 常 利 益	31,557	0.8	160,602	3.8	129,045	408.9
特 別 利 益	—		—		—	
特 別 損 失	19,653		—		▲19,653	
税引前当期純利益	11,904	0.3	160,602	3.8	148,698	1249.1
(法 人 税 等)	(6,484)		(8,000)		(1,516)	
(税 効 果)	(▲311)		(—)		(311)	
税 合 計	6,172		8,000		1,828	
税引後当期純利益	5,731	0.2	152,602	3.6	146,871	2562.7
少数株主利益	—		—		—	
当期純利益	5,731	0.2	152,602	3.6	146,871	2562.7

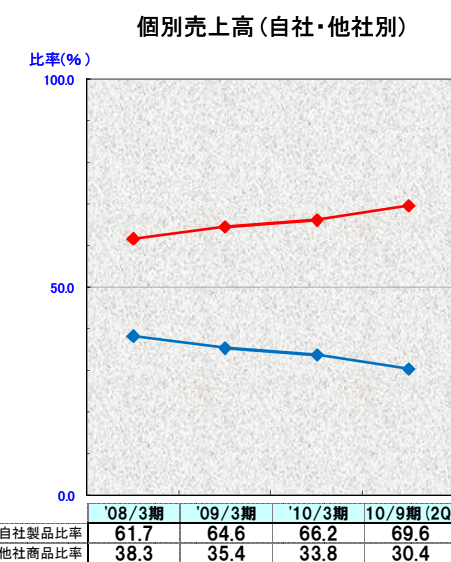
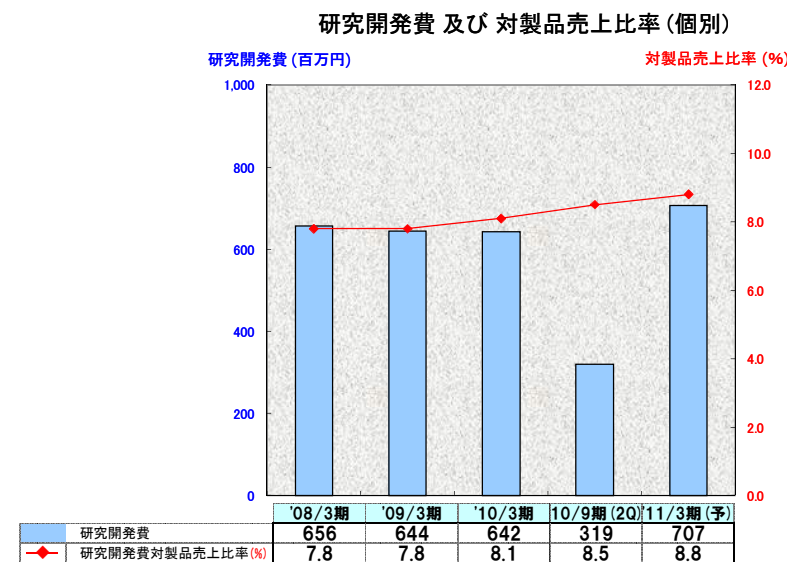
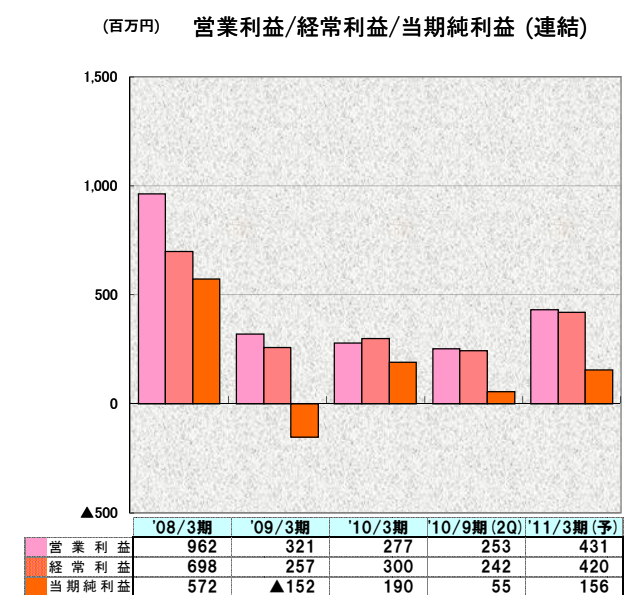
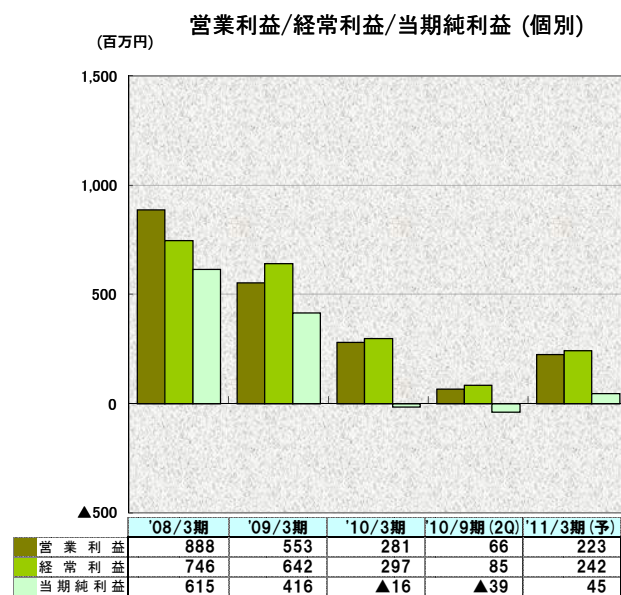
前期実績 対 見直し後計画	連 結 決 算					
	前期実績 通期 (平成22年3月期)		当期見直し 通期 (平成23年3月期)		差 異	
	千円	%	千円	%	千円	%
売 上 高	15,679,337	100.0	16,047,414	100.0	368,077	2.3
売 上 原 価	10,804,669		10,940,071		135,402	
売 上 総 利 益	4,874,668	31.1	5,107,342	31.8	232,674	4.8
販売費及び一般管理費	4,597,221		4,675,565		78,344	
営 業 利 益	277,446	1.8	431,777	2.7	154,331	55.6
営 業 外 収 益	107,965		76,301		▲31,664	
営 業 外 費 用	84,998		87,810		2,812	
経 常 利 益	300,414	1.9	420,269	2.6	119,855	39.9
特 別 利 益	5,000		28,350		23,350	
特 別 損 失	110,513		115,390		4,877	
税引前当期純利益	194,900	1.2	333,229	2.1	138,329	71.0
(法 人 税 等)	(198,181)		(123,062)		(▲75,119)	
(税 効 果)	(▲196,932)		(—)		(196,932)	
税 合 計	1,249		123,062		121,813	
税引後当期純利益	193,651	1.2	210,166	1.3	16,515	8.5
少数株主利益	3,002		53,720		50,718	
当期純利益	190,649	1.2	156,446	1.0	▲34,203	▲17.9



注1) 設備投資には、長期前払費用を含んでおります。
 注2) '09/3設備投資には、横浜支店 自社ビル用土地建物241百万円を含んでおります。
 当支店の新社屋は、'09/5に完成いたしました。
 注3) '08/3期は、埼玉県入間市内の総合技術センターに東棟を新設しております。

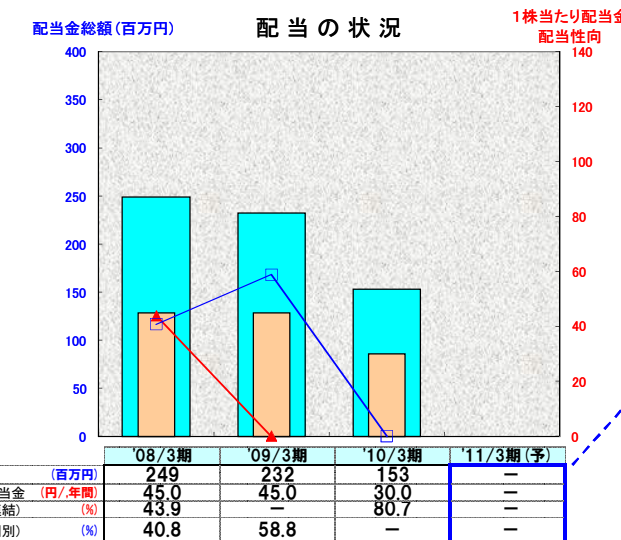
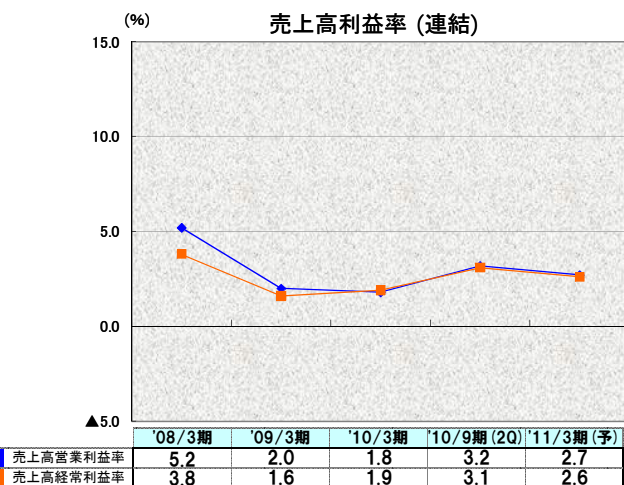
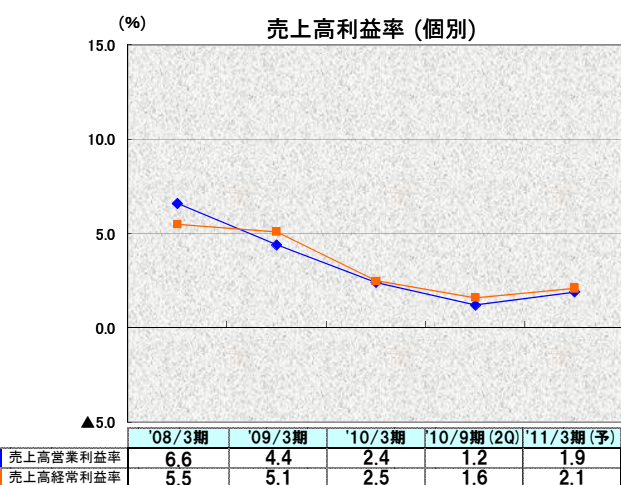
注) 設備投資には、長期前払費用を含んでおります。

注) 設備投資には、長期前払費用を含んでおります。



※) 上記 数値は、ジーエルサイエンス 個別(単体)をベースに計算しております。

※) 上記 比率は、ジーエルサイエンス 分析機器事業をベースに計算しております。



'11/3期(予)の配当につきましては、現時点において、合理的な業績予想の算定が困難であることから、未定とさせていただきます。
 今後は業績の回復に努め当社グループの事業環境の推移を見極めた上で配当予想額の開示が可能となり次第、速やかに開示いたします。

会社別 実績及び計画数値

	ジーエルサイエンス株式会社								ジーエルサイエンス株式会社(個別)				テクノオプティクス株式会社(連結)				連結決算			
	分析機器事業				自動認識事業															
	'09/3期	'10/3期	'11/3期(予)	'11/3期(予)	'09/3期	'10/3期	'11/3期(予)	'11/3期(予)	'09/3期	'10/3期	'11/3期(予)	'11/3期(予)	'09/3期	'10/3期	'11/3期(予)	'11/3期(予)	'09/3期	'10/3期	'11/3期(予)	'11/3期(予)
売上高	11,959	11,107	5,046	10,950	679	672	342	750	12,626	11,771	5,387	11,700	3,595	3,867	2,417	4,260	16,323	15,679	7,851	16,047
売上総利益	3,921	3,627	1,736	3,650	298	297	147	329	4,220	3,925	1,884	3,979	614	841	629	988	4,999	4,874	2,577	5,107
営業利益	546	270	65	199	6	10	0	24	553	281	66	223	▲264	30	177	187	321	277	253	431
経常利益	635	287	84	218	6	10	0	24	642	297	85	242	▲356	31	147	160	257	300	242	420
税引前当期純利益	648	161	▲2	131	6	10	0	24	655	171	▲1	155	▲717	11	142	160	▲124	194	142	333
当期純利益	409	▲26	▲39	21	6	10	0	24	416	▲16	▲39	45	▲783	5	139	152	▲152	190	55	156

(単位:百万円)

第44期 2Q 個別決算(分析機器+自動認識) 販管費・営業外損益・特別損益 内訳

単位：千円(単位未満 切捨て)

(販管費)	前期	当期	増減額		(前期)	(当期)	増減額	増減率		前期	当期
					第43期 2Q 平成21年9月期	第44期 2Q 平成22年9月期				(営業外収益)	(営業外費用)
運賃荷造費	51,021	49,283	△1,738	売上	5,324,929	5,387,747	62,817	1.18	受取利息	12,669	11,332
広告宣伝費	64,770	44,253	△20,516	売上原価	3,546,405	3,503,286	△43,119	△1.22	受取配当金	3,245	11,165
貸倒引当金繰入	0	0	0	売上総利益	1,778,523	1,884,460	105,936	5.96	為替予約評価益	0	5,661
役員報酬	62,349	51,189	△11,160	販管費	1,825,609	1,817,661	△7,948	△0.44	為替差益	4,950	0
給料手当	575,106	571,004	△4,102	営業利益	△47,085	66,799	113,885	△241.87	雑収入	14,924	24,819
賞与	35,227	51,371	16,143	営業外収益	35,790	52,980	17,189		計	35,790	52,980
賞与引当金繰入	125,735	161,106	35,370	営業外費用	80,303	34,496	△45,807		支払利息	23,102	20,215
退職給付引当金繰入	80,185	69,146	△11,038	経常利益	△91,598	85,283	176,881	△193.11	手形売却損(割引料)	0	0
役員退職給与引当金繰入	6,208	5,418	△789	特別利益	1,341	28,350	27,009		為替予約評価損	52,960	0
法定福利費	98,423	100,689	2,266	特別損失	110,679	115,390	4,710		為替差損	0	13,295
福利厚生費	12,739	12,661	△78	税引前当期利益	△200,936	△1,756	199,179	△99.13	雑損失	4,240	984
賃借料	70,428	62,886	△7,541	法人税等	8,000	4,937	△3,062		計	80,303	34,496
減価償却費	58,003	49,107	△8,896	法人税等調整額	△73,016	32,445	105,461		貸倒引当金戻入益	1,341	9,692
公租公課	21,497	26,087	4,590	当期利益	△135,920	△39,139	96,781	△71.20	固定資産売却益	0	0
交際費	3,966	3,068	△897	売上総利益率	33.40%	34.98%	1.58%		投資有価証券売却益	0	18,658
旅費交通費	66,028	68,630	2,602	営業利益率	-0.88%	1.24%	2.12%		0	0	
通信費	17,923	16,742	△1,180	経常利益率	-1.72%	1.58%	3.30%		0	0	
試験研究費	318,115	319,361	1,246						計	1,341	28,350
支払手数料	50,999	45,583	△5,415						特別利益		
車両費	8,110	9,579	1,469						特別損失		
消耗品費	37,076	31,786	△5,290						固定資産除売却損	1,995	332
その他	61,693	68,702	7,009						投資有価証券売却損	0	0
計	1,825,609	1,817,661	△7,948						投資有価証券評価損	96,112	110,776
									貸倒引当金繰入	12,572	0
									過年度資産除去影響額	0	4,281
									計	110,679	115,390

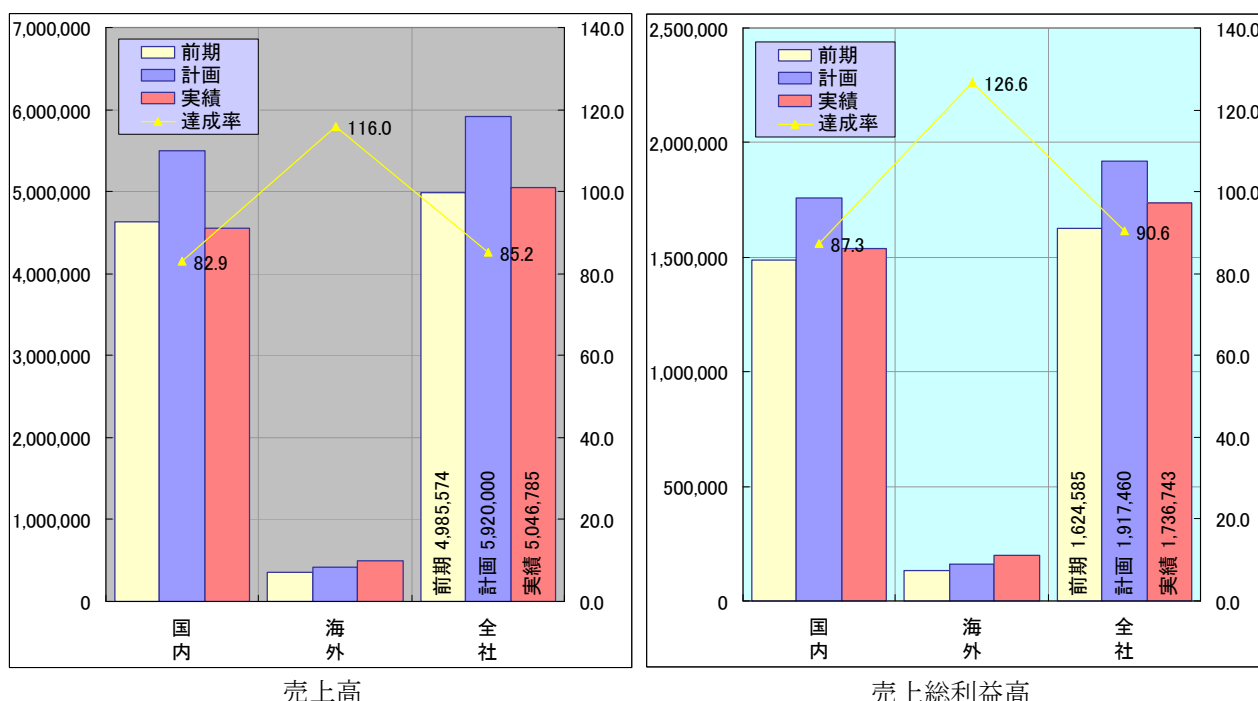
◆分析機器事業

平成22年12月6日
 ジーエルサイエンス株式会社
 営業本部

平成23年3月期（第44期上期）決算説明会 資料

1. 第44期上期業績概要

＜第44期上半期累計 国内・海外・全社 売上高、売上総利益高 前期・計画・実績＞



第44期上期（平成23年3月期 第2四半期）の分析機器事業の売上実績は5,046,784千円で、上期計画5,920,000千円に対して、計画達成率85.2%、計画差異▲873,216千円、前年同期比+1.2%という結果でした。

売上総利益については計画1,917,460千円に対して1,736,743千円で達成率90.6%、前年同期比+6.9%、また営業利益については計画92,240千円に対して65,987千円で、達成率71.5%。前年同期は、営業損失56,551千円という結果でした。

第44期は「メーカー営業の推進を行い、分析機器事業戦略に基づきイナートファミリーをはじめとする自社製品の拡販を主軸に、売上計画123億円、売上総利益計画39億8千万円（32.4%）の必達をはかる」ことを営業方針に掲げ、スタートいたしました。

◆第2四半期累計

第1四半期は、営業方針に示す通り、イナートファミリーをはじめとする自社消耗製品が順調に売上を伸ばし、設備投資の様子見の影響から低迷した装置関連の売

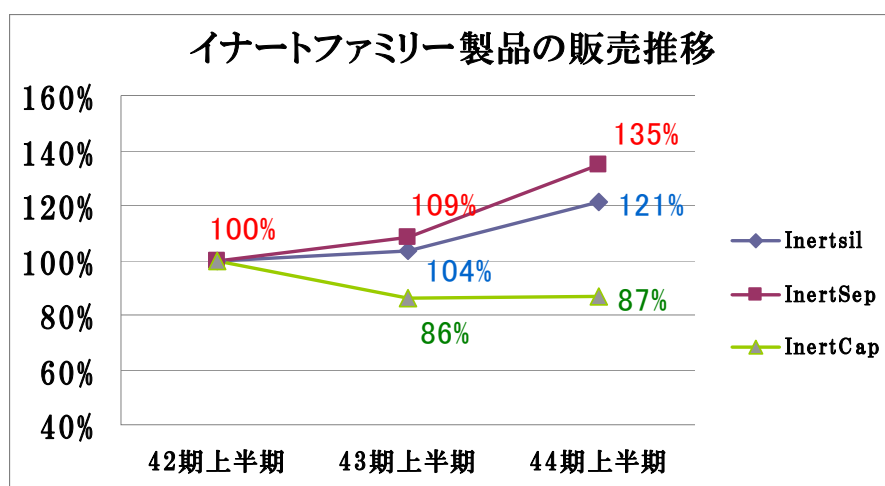
上を牽引する形になりました。

第2四半期に入ると、前期下期から継続している「地下水環境基準項目」として追加された塩化ビニルモノマーの測定関連装置が売上を伸ばし、さらに自社消耗製品も第1四半期から継続して好調を続け、その結果第2四半期累計売上実績では計画達成率 85.2%、前期比+1.2%の結果となりました。

結果内訳としては、装置関連では、計画達成率 77.9%、前期比▲1.6%（自社製品計画達成率 85.4%、前期比+13.0%。他社商品計画達成率 68.0%、前期比▲18.9%）。特に他社の大型装置の売上低迷が大きく影響しております。

消耗品関連では、計画達成率 90.0%、前期比+2.9%（自社製品計画達成率 91.4%、前期比+4.5%。他社商品計画達成率 86.2%、前期比▲1.4%）と、残念ながら装置、消耗ともに計画未達成でした。

2. 主力消耗品、イナートファミリーの動向



上記グラフは、イナートファミリーの42期上期累計売上を“100%”とした場合の、43期上期、44期上期の累計売上を表したグラフです。

第44期営業方針において、「メーカー営業の推進を行い、分析機器事業戦略に基づきイナートファミリーをはじめとする自社製品の拡販を主軸に、売上計画123億円、売上総利益計画39億8千万円（32.4%）の必達をはかる」と掲げております通り、イナートファミリーを主力販売アイテムとして位置付け、売上全体の底上げを推進する営業活動を展開いたしております。

“イナートファミリー”には、

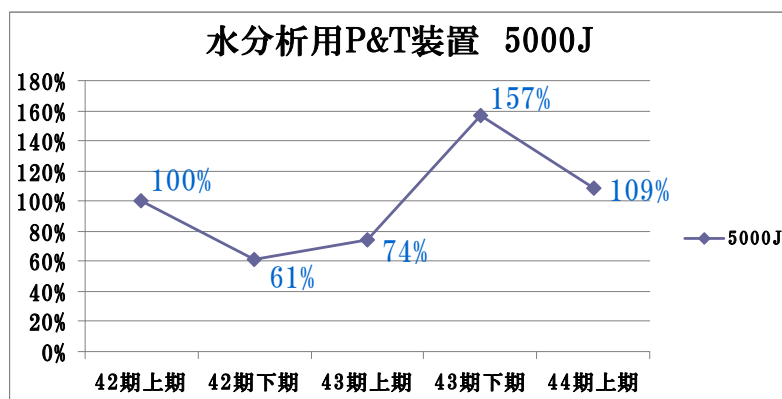
- ・イナートシル(Inertsil)：LC(液体クロマトグラフ)充填カラム
- ・イナートキャップ(InertCap)：GC(ガスクロマトグラフ)キャピラリーカラム
- ・イナートセップ(InertSep)：試料前処理用固相カートリッジ

以上の3アイテムがありますが、上記のグラフの通り、Inertsil、InertSepは順調な伸びを示しております。しかしながら、InertCapにつきましては、GC市場の飽和を物語るように、ほぼ横ばいの状況と言えます。

3アイテム合計では、計画達成率87.8%、前期比+7.3%の結果です。

3. 主力自社装置、ページ・アンド・トラップ 5000J Plus の動向

各期半期毎累計売上動向推移



【ページ・アンド・トラップ 5000J Plus】

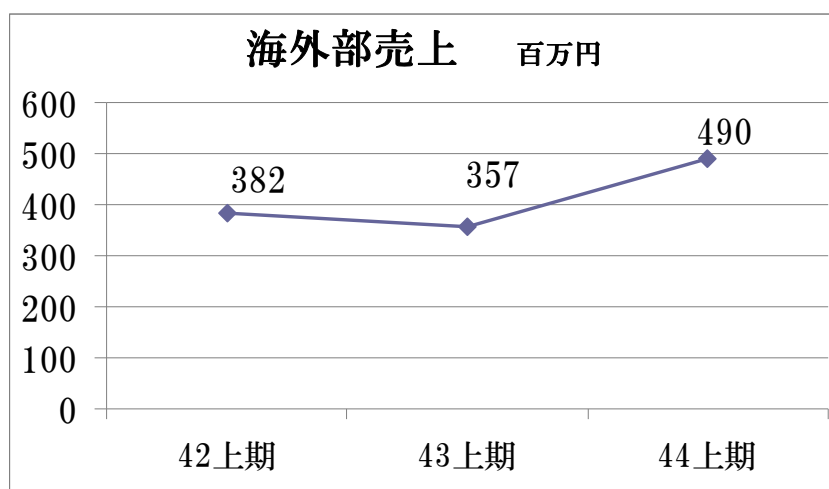
上記グラフは、42期上期累計売上を“100%”とした場合の、42期、43期、44期の上期、下期の累計売上を表したグラフです。

前期下期から好調に拡販が続いております水質環境関連前処理装置 ページ・アンド・トラップ 5000J Plus は、前期下期には及ばないものの、上期においては、前年同期比を47%程上回っております。

4. 海外市場の動向

右グラフは、海外部の第42期から今期までの上半期売上金額をグラフ化したものです。

当期上期の売上が近年最高の結果となっていることがわかります。



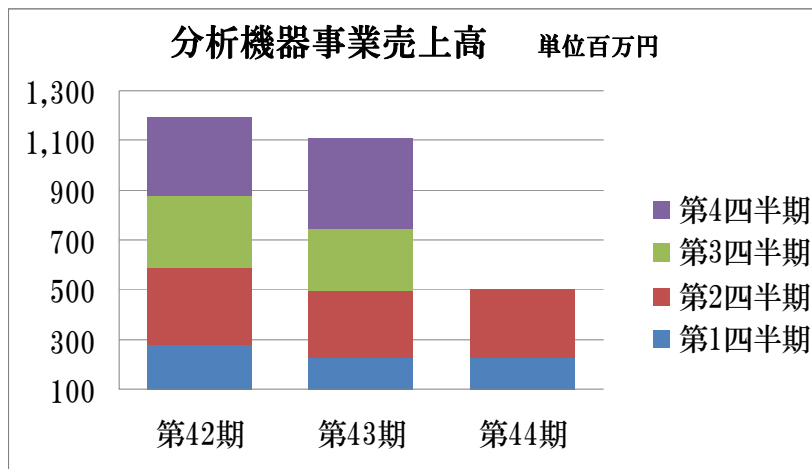
異常な円高により、GC 関連装置、および消耗品受注が減る一方において、新興アジアにおいて、輸出主力製品の LC カラム”Inertsil”、および装置関連が順調な販売を続けたため、計画達成率 116.0%、前期比+37.2%（装置関連計画達成率 114.6%、前期比+148.1%、消耗品関連計画達成率 116.2%、前期比+28.1%）と、好調な結果となりました。

下期においても、この勢いは継続されると予想され、通期においても、計画は達成するものと予測いたしております。

5. 下期の国内動向

前期第4四半期の売上は、前々期比+14.8%と、飛躍的な伸びを計上いたしました。

今期（第44期）に入り第1、第2四半期の売上が前期とほぼ同様な推移であることから、前期比増を目指す上で、第3、第4四半期においては、今上期に比し、かなりの売上計上が必要となります。



6. 下期に向けた業績高揚活動

1) 重点製品群の強力拡販

「選択」と「集中」により自社製品の中から需要の旺盛なく自社キャピラリー＜LC充填カラム＞＜固相抽出類＞＜自社LC装置＞などを含む、8つの製品群を抽出し、それぞれに営業支援チームを編成して、拡販へのバックアップを推進することにより、第3、第4四半期において、前期を越える売上向上を目指す拡販戦略を実施いたします。

当期上半期では、すでに前期比+9.9%の伸びを示しておりますが、下期はさらに前期比アップを目指します。

2) 過去最大の集中キャンペーンの実施

第3四半期より各種キャンペーンを実施、お客様の購買意欲を喚起することにより、売上向上に繋がります。

当社においては予算執行の進む年度末に向けて、每期同様のキャンペーンを実施していますが、今期は右の写真のキャンペーン内容および新製品を一冊にまとめた拡販カタログを従来の2倍の30000部発行し、拡販に努めます。

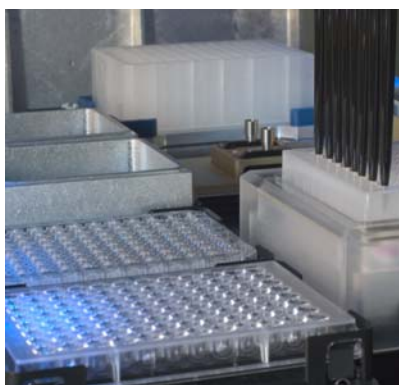


3) 売れ筋、高利益製品群の強化

主力製品である” Inertsil” では、新製品をラインナップいたします。
この新製品は、今期大幅な伸びを記録した海外販売に大いに貢献でき、低調な国内販売においても他社を十分席卷できる製品であり期待が持てます。

4) ライフサイエンス市場への大型装置の拡販

分析試料の前処理と分析機器への供給工程を自動化するために使用される全自動分注システム<MICROLAB>（下記写真参照）が、主に製薬メーカー、臨床検査機関を対象として好調な引き合いを続けております。下期において前期を大幅に上回る販売台数を確保し、通期におきましては、売上計画4億円を達成する見込みです。



【全自動分注システムMICROLAB(マイクロラボ)】

以上

○第 44 期上期売上計画・利益計画達成概況について

売上実績は、デバイス部門において警備業界用途に 125kHz 帯域のリーダライタおよびタグの出荷が大きく伸張しました。13.56MHz 帯域についても、前述の警備業界をはじめとした入退室管理・勤怠管理等のアクセスコントロール分野では順調に推移しました。長年冷え込んでいたアミューズメント業界への出荷数量も回復の傾向にあります。

しかしながら、昨年度大きな実績となった情報処理端末向け機器への採用は、数々の引合があるものの大量受注にはいたっておりません。

システム部門においては、入退室管理・化学物質総合管理どちらも採用が進まず厳しい状況となっています。当事業部が新たな市場とし捉えている物流・流通分野への展開についてもまだまだこれからという状況にあります。

この結果、上期の実績は 342,000 千円となり、計画 349,900 千円を下回ることとなりました。達成率では 97.7%、前期比 99.5%となります。

利益面では、営業利益は計画の 680 千円に対し 811 千円とわずかに上乘せすることができました。粗利益率の低いタグの出荷数量が増大したため、その他の収益率の高い製品の利益や、経費削減の成果分を圧縮してしまいました。

○第 44 期下期売上計画予想について

下期においては、デバイス部門での大型開発案件および大量納入案件が複数予定されている他、低調なシステム部門においても大型案件が進行中です。このため、400,000 千円超の売上を十分に確保できる見通しとなっています。しかしながら、期待の大きい情報処理端末向けの機器への採用はイチゼロの世界であり予断を許しません。各種部品調達の高納期化による納品時期のずれが発生する可能性もあり、慎重かつ大胆な生産および納期管理が必要な状況にあります。これらを踏まえ、確実な売上の確保と、さらなる大型案件受注の努力を継続していきます。

上期に開発した機器組込用のリーダライタモジュール新製品 NM20-C-3V、TM20-C-5V は今後の売上の貢献が期待できます。下期は従来製品と新製品を既存顧客の深掘と新規開拓で予算達成に邁進したいと考えています。

○主力製品動向

《機器組込型ユニット》

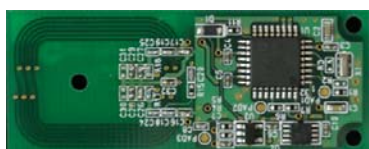
警備業界での法人向け警備機器用のリーダライタモジュールの出荷が順調です。入退室管理市場や勤怠管理機器市場においても、大きな伸びはないものの順調に推移しています。また、完全に冷え込んでいたアーケードゲームや遊戯機器等のアミューズメント市場において、従来製品の追加発注や新製品の採用が行われることとなり、復調の兆しを見せています。

特に上期に開発を進めていた徹底的な低コストを意識したリーダライタモジュール(NM20C-3V)の出荷を開始しました。本製品はゲーム機器への大量採用が決定し順調な滑り出しをみせています。今後、コスト要求の厳しい情報処理端末機器市場へ展開していく大きな切り札となると考えています。

さらに、国内交通系カードや電子マネーカードとして使われている FeliCa(フェリカ)や海外で幅広く普及している mifare(マイフェア)といった ISO-14443 系の非接触 IC カードと、製造工場の工程管理や物流システムで利用されている ISO-15693 系の非接触 IC カードを同時に利用できるリーダライタ(TM02C-5V)を、第4四半期には量産出荷できるよう現在パイロットユーザに対しサンプル出荷を準備しています。

本製品は、ISO-14443 系と ISO-15693 系の異なる市場をつなぐものとなると捉えており、新規顧客開拓だけでなく従来顧客への新たな提案が行えるものと考えています。

また、昨年出荷を開始した FeliCa/mifare に加え、免許証やパスポート、住基ネットカードなどにも採用されている ISO-14443 type B カードにも対応できる NFC 対応リーダライタモジュールも顧客への浸透が進み、採用が増えつつあります。組込型ユニットにおいては、徹底的な低コストを背景とした製品の大量提供を行っていくとともに、高機能製品を確実に展開していく方針を継続していきます。



徹底的な低コストと
小型化を追求した
NM20C-3V



ISO-14443 系と ISO-15693 系を
同時利用できる
TM02-C-5V

《付加価値製品群》

壁付型リーダはXR01およびXR10シリーズを小規模ながら継続採用いただくことが増えています。これら採用企業とのつながりを強めていくことで出荷数量の増大を図っています。XR10シリーズでは従来より対応していた FeliCa/mifare に加え、TIRIS (タイリス) という全く異なる企画の非接触 IC カード・タグも同時に読取ることができるマルチリーダタイプのバリエーションモデルを開発しています。今期、本モデルを特定企業向けに提供し、来期より一般販売を開始します。

上期は大きく苦戦することとなった入退室管理システム、化学物質総合管理システムは、下期においても厳しい状況は続くものと思われま。しかしながら、入退室管理専用機である XRC100の機能追加により、扉制御のみではなくエレベータ連動やメールボックス連動・宅配ボックス連動等の用途開発が進み、従来の顧客のみでなく、新規ユーザへの展開を図ります。従来ユーザからの評判も高く、今後の緩やかに回復していけるものと考え、辛抱強く提案を続けていきます。

Windows CE を搭載した高機能端末として提供を開始した XPC100 につきましては、複数の協力企業、採用企業との協業が進みつつあります。本製品は、ユーザ独自のプログラムを組むことで目的に合わせた開発を行うことを特長としてアピールしています。現在さまざまな企業との連携を図る活動を行っており、下期には成果をあげられるものと考えています。

ハンディリーダライタ XR03 シリーズについても出荷体制が整いました。協力企業による付加価値システムの開発も進み、下期においては機器単体のみだけではなく、システム提案も行っています。さらに mifare に対応した XR03U-NF モデルの追加発売も行うことにより、ユーザの拡大を目指しています。

以上



XR10 シリーズ



XRC100



XPC100



EzHandy XR03 シリーズ